

再休職を防ぐための「ライフ・キャリア」の視点を取り入れたリワークプログラムの策定



【池袋キャンパス】臨床心理学研究科 教授

馬場 洋介 Baba Hirotsugu

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 職場復帰支援・再休職・リワーク・ライフキャリア



研究の概要

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 10 : 働きがいも 経済成長も

現状、職場復帰支援に関する問題のひとつとして、職場復帰後の再休職の問題が挙げられる。

本研究は、職場復帰後の再休職を防ぐために、「ライフ・キャリア」の視点を取り入れたリワークプログラムを開発し、その有効性の検証を目的とした研究である。現状、職場復帰後の再休職の問題に対して、例えば、行動療法に基づいた集団プログラムの実施により、しなやかさを備えた行動へと変容させた対処行動等を身につけ、再休職へ備えるプログラム等が実施されている。

しかし、職場復帰支援のなかで、これまで最も欠けていた視点として、職場復帰する人のキャリア形成支援、キャリア開発に関する課題があり、職場復帰支援の手引きや、精神科、心療内科の病院で展開されているリワークプログラムにおいても、キャリア支援の観点の不足が指摘されている。

本研究では、職場復帰で課題になっている再休職を防ぐために、ライフ・キャリアを取り入れた、どのようなプログラム内容、運用方法が有効なのかについて、リワークプログラムを受講し、職場復帰した方々を対象に、復職者のライフ・キャリアに対する捉え方の変化を定量、定性の両方の視点で検証する。

また、職場復帰支援においては、個人への支援だけでなく、支援者同士や組織との協働が必要であり、多職種連携の支援体制の構築が必要である。本研究では、キャリアコンサルタント、心理職、産業保健スタッフ、人事担当者、上司など、それぞれの専門性が異なる支援者が、キャリア支援とメンタルヘルス支援の境界を超えた協働が可能な体制を作る際に、支援者として必要な姿勢、コンピテンスはどのようなことなのかについても検証する。

さらに、職場復帰を支援する取り組みが、再発予防だけでなく、職場の活性化や働きがいの向上やエンゲイジメントの強化にもつながることを、本研究で実証していく。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

「ライフ・キャリア」の視点を取り入れた有効なリワークプログラムの開発・実践は、職場復帰後、再休職せずに継続的に働けることにつながり、休職者、会社双方にとって有益なことと思われる。そして、職場復帰後、復職者が元の健康状態に戻るだけでなく、新たなライフ・キャリアを実現し、モチベーション高く働くことは、本人以外の職場の方々の働くモチベーション向上にもつながり、組織全体のワークエンゲイジメント向上にも寄与する。そして、「ライフ・キャリア」の視点を取り入れた有効なリワークプログラムの開発は、職場復帰に携わる産業保健スタッフに求められる姿勢、スキルの明確化にもつながり、職場復帰支援に関する具体的な学習プログラムの開発にも寄与する。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・「キャリアの視点を取り入れた職場復帰支援の取り組み～メンタル面とキャリア面の統合的アプローチ～」
- ・「メンタル面とキャリア面の統合的視点でのリワークプログラムの取り組み」
- ・「特集：リワークの使い勝手：再休職を防ぐための「ライフ・キャリア」の視点を取り入れたリワークプログラムの取り組み」